

2011年度（平成23年度）第2回福山市入札監視委員会会議概要

1 会議名

2011年度（平成23年度）第2回福山市入札監視委員会

2 開催日時・場所

2011年（平成23年）9月30日（金）午後3時～午後4時10分
福山市役所議会棟3階 第5委員会室

3 出席委員

中山委員，相原委員，西原委員，坂本委員，小島委員

4 出席した職員

建設管理部長，北部支所長，建築部長，水道局業務部長，水道局工務部長，水道局業務部
参与，建設政策課長，契約課長，技術検査課長，北部建設産業課長，営繕課長，設備課長，
水道局配水課長

5 会議の概要

(1) 2011年度（平成23年度）の契約状況等について

契約課長から次のとおり説明を行った。

本年度8月末までの福山市発注分の入札件数は327件で，その落札率は84.3%，水道局発注分は66件で，83.7%であった。福山市発注分の落札率が2008年度から上昇した要因としては，2005年度から段階的に公募型指名競争入札や条件付一般競争入札の対象を順次拡大したことにより，競争性が向上したものの，一方では，過度な低価格での受注による建設労働者や下請業者へのしわ寄せなどの懸念から，2007年度に低入札価格調査制度を廃止し，最低制限価格制度に一元化したこと，2008年度から厳しい経済状況や雇用情勢に対応するため，企業の健全経営に配慮する観点から最低制限価格の算定基準を順次見直しを行ったことによるものである。本年度の落札率は，昨年度と同程度で推移するものと予測している。

(2) 抽出案件の審議

- ア 区画線設置工事（法成寺吉和線外2路線（22緊急経済分））
- イ 福山市園芸センター小温室解体工事
- ウ 福山市神辺斎場建設植栽工事
- エ LED防犯灯設置工事（7工区）
- オ 配水管添架及び布設工事

アからオについて，契約担当課長及び当該工事担当課長が，それぞれの工事について説明を行った。

(3) 入札及び契約手続の運用状況等についての報告

指名除外措置運用状況について、契約課長から取りまとめて報告を行った。

(4) 次回委員会の開催日時について

現在の委員は、本年11月13日までの任期のため、各委員の意向を確認し、今後の開催日程等については、事務局で調整する。

(5) 次回委員会で審議の対象とする工事の抽出方法について

次回の事案の抽出は、本年8月から11月分を対象とし、担当委員については、事務局で調整する。

6 発言の趣旨

主な質疑応答は、次のとおりである。

抽出案件の審議

ア 区画線設置工事（法成寺吉和線外2路線（22緊急経済分））について

Q1 今回の条件付一般競争入札の結果においては、ほとんどの案件の落札率は82から85%の範囲にあり、平均は82.7%である。上記案件と社会実験用自転車レーン設置工事（福山駅箕島線）が今回抽出対象の入札において、90%ととびぬけて落札率が高く、いずれも工種は塗装工事である。今回、同じ工種においてのみ同様の高落札率の結果となったことは奇異に感じるが、何か理由があるのか。

A1 この工事の工種は、道路の路面表示などを行うことから、建設業法では塗装工事とされている。また、この工事は、一般通行を確保しながら工事を施工することとなるため、技術の熟度を必要とし、工事の品質確保を図るために、同種工事の施工実績を求めたものである。落札率は90.6%であるが、入札の結果については、施工条件、技術者の配置状況、工事場所などの理由もあったのではないかと考えている。社会実験用自転車レーン設置工事（福山駅箕島線）も塗装工事であり、同様の理由ではないかと考えている。

Q2 入札価格を見ると、不自然な感じがするが、業者間の調整は考えられないか。

A2 独禁法など不正行為に対する措置は厳しくなっており、そのようなことは困難ではないかと考えている。

Q3 他の工事と比べて落札率が高くなる原因は何か。

A3 一定の専門機械を保有し、専門の技術を持った技術者が必要であることなどが要因ではないかと考えている。また、市内業者が2社しかいないことも考えられる。

イ 福山市園芸センター小温室解体工事について

Q4 上記案件と福山市立芦田中学校プール解体工事はいずれも解体工事であるが、落札率が他の案件に比べて低い。解体工事ではこのように落札率が低くなる理由があるのか、あるいは偶然の結果であろうか。

A 4 解体工事についての最低制限価格の算定方法は、一般的な建築関連工事と比べて直接工事費に乗じる割合が10%低くなっており、入札参加者は高い受注意欲から、その算定方法に基づき最低制限価格付近で入札し、結果として、全体的に落札率が他の工事に比べ低くなっているものと考えている。

Q 5 積算上、最低制限価格も低くなっているのか。

A 5 最低制限価格の積算方法については、公表しており、業者もこれに基づいて積算したものと考えている。

ウ 福山市神辺斎場建設植栽工事について

Q 6 この案件は13社中12社が失格となっている。落札率は84.1%で、平均落札率に近いにもかかわらず、このように失格が多くなった理由について知りたい。

A 6 この工事は造園工事であり、造園工事の発注が少ない中で金額が比較的高いものであることなどの理由により、入札参加者は高い受注意欲から、多くの者が最低制限価格付近での入札価格で入札を行ったが、この工事は他の造園工事などと比べ、最低制限価格の基準となる価格が若干高かったこと、最低制限価格の調整の影響などにより多くの者が結果的に最低制限価格を下回り、失格となったものと考えている。

エ LED防犯灯設置工事（7工区）について

Q 7 今回の指名競争入札を行った工事22件はすべてLED防犯灯設置工事であるが、上記案件は98%と他の案件に比べて異常に高い。その理由は何か。

A 7 この案件は、工事内容がLED防犯灯を市の支給品とし、取付けに必要な労務費だけであること、また、工期が3ヶ年度にわたることなどが要因となり、各業者の技術者の配置状況などにより応札金額に開きが出たものと考えている。また、この工事の開札前に他の工区を落札した2者は、「この工事の落札者は、他のLED防犯灯設置工事の落札者となれない」という入札条件により無効となったため、結果として、入札金額の高い業者が落札したものである。

Q 8 似たような工事内容であるのに、工区によって落札率がこのように差があるものなのか。

A 8 業者の技術者の配置の状況や、3ヶ年度にわたる工事で施工が長期になることから、技術者が少ない業者は入札金額が高くならざるを得ない状況である。

オ 配水管添架及び布設工事について

Q 9 この案件は共同企業体による入札である。落札率は89.4%と比較的高いにもかかわらず、入札者5社中4社が失格となっている。その理由は何か。

A 9 この工事における配水管は、千田配水池より福山市の南部方面への給水を賄う基幹管路であり、入札参加資格として同種同規模の水輸送用塗覆装鋼管の布設又は布設替工事を行った実績を求めることとし、この施工実績を有する者は市内に1者もなく、広島県内に本店、支店等を有する者が数社確認された。入札参加者は高い受注意欲から、最低制限価格付近での入札価格で入札を行ったが、最低制限価格の調整の影響などにより4社が結果的に最低制限価格を下回り、失格となったものと考えている。